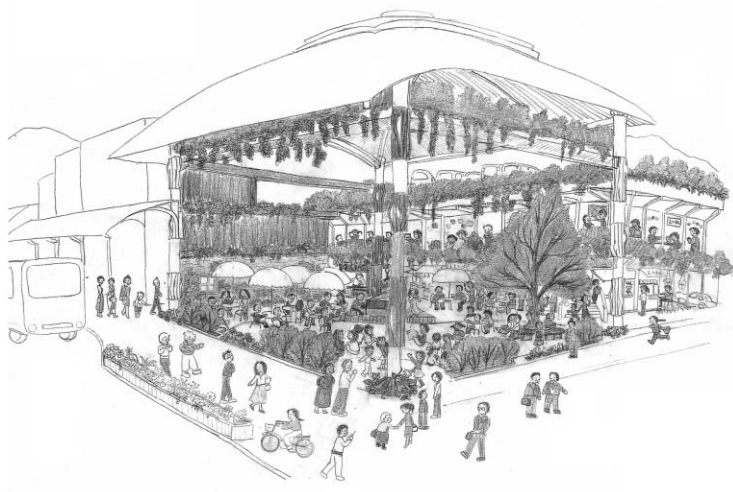
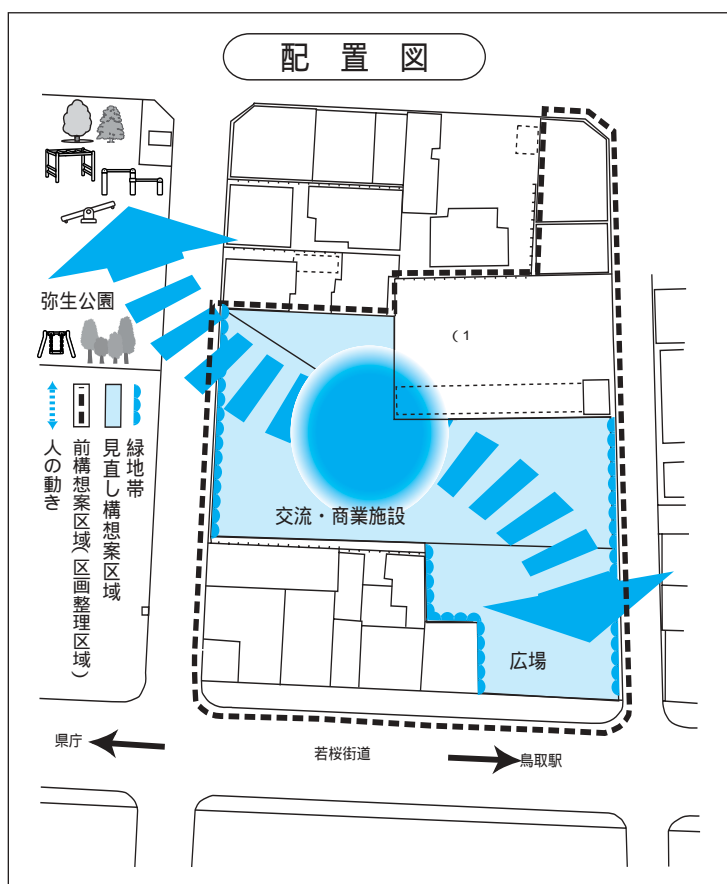


の見直し案 お寄せください

ワークの起点」へ変わりました



イメージスケッチ

これまでの経過

弥生にぎわい拠点整備は、平成十一年三月に策定された中心市街地活性化計画で「先導的に取り組むこと」によって、さまざまな波及効果を生み出す起爆剤的な事業」として位置付けられました。

以降、公募委員も含めた活性化委員会などで議論を重ねていただき、平成十三年八月に整備構想案（前構想）としてまとめました。

しかしながら、この構想は中心市街地に必要なさまざま

な機能を集約した結果、事業費が約四十九億円になり、市民政策コメントで多くの市民のみなさんから疑問が出されました。

本年七月、竹内市長が、弥生にぎわい拠点だけではなく中心市街地全体で同時多発的に活性化事業を行うことが重要であり、この拠点は複合的な機能を持ったものではなく、機能を単純化した方向で考えるべきである、と問題提起を行いました。

これらを受けて、再度、活性化委員会で検討を重ね、このたび、この拠点整備の位置付けを「市民交流ネットワークの起点」とし、施設の構成や規模を大幅に修正した「見直し構想案」をまとめました。

市では、この案について市民のみなさまにご意見をお寄せいただき、さらに検討を重ね、来年五月頃には、具体的な整備計画を策定することにしていきます。